

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

二 次の——線部の漢字の正しい読み方を、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

1 病気の対策をする。

2 私服を着る。

3 正論を述べる。

4 深呼吸をする。

5 バスの座席をゆずる。

三 次の——線部のカタカナを、漢字で書いてねいに書きましょう。

1 セキニン感をもつ。

2 数のゾウゲンを見る。

3 使用のキョカをもらう。

4 体育のジュンビをする。

5 ヒョウバンの店に行く。

■ 正答

- 二 1 たいさく 2 しふく 3 せいろん 4 こきゆう 5 ぎせき
- 三 1 責任 2 増減 3 許可 4 準備 5 評判

取り組んでみよう！

次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 群れをヒキいる。 3 学習のカダイを書く。
- 2 カギられた時間。 4 星にカンシンをもつ。

答え

ひ 群 ヤ 群 題 題 3 (シ) 限 2 (ス) 率 ↓

1

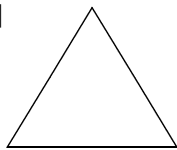
2 から 7 までのカードが 2 枚ずつあります。カードを次の□にあてはめて、答えを 2 にするには、どのような分数のかけ算の式が考えられますか。式を 1 つ書きましょう。

$$\frac{\square}{\square} \times \frac{\square}{\square} = 2$$

2

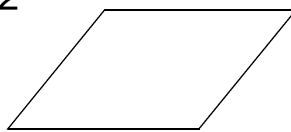
下の 1 から 4 までの図形について、次の問題に答えましょう。

1



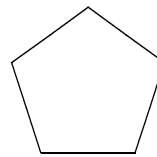
正三角形

2



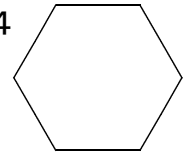
平行四辺形

3



正五角形

4



正六角形

(1) せんたいしょう線対称な図形をすべて選んで、その番号を書きましょう。

(2) てんたいしょう点対称な図形をすべて選んで、その番号を書きましょう。

3

次の問題に答えましょう。

(1) 色紙が 8 たばと 3 枚あります。1 たばの数を x 枚、全部の枚数を y 枚として、全部の枚数を表す式を書きましょう。

(2) 次の①、②の式に表される場面を下の **ア** から **エ** までのの中から選んで、記号を書きましょう。

① $36 - x = y$

② $36 \div x = y$

ア x ページの本があります。36 ページ読んだときの残りは y ページです。

イ 面積が 36 cm^2 の平行四辺形があります。底辺が $x \text{ cm}$ のとき、高さは $y \text{ cm}$ です。

ウ 男子が x 人、女子が y 人の学級の合計は 36 人です。

エ x 個のあめを 36 人で等分したら、一人分は y 個でした。

※次のページにも、問題があります。

4 $\frac{2}{3} \times \frac{1}{5}$ の計算の仕方を、次のように説明しました。

【説明】

かける数を整数にして考えました。まず、かける数を整数にするために、 $\frac{1}{5}$ を5倍しました。次に、かっこの中を計算すると、

$$\frac{1}{5} \times 5 = 1 \text{ なので、} \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \text{ となります。}$$

このままでは、積も5倍になるので、積を5でわって、 $\frac{2}{3} \div 5 = \frac{2}{15}$ となります。だから、答えは $\frac{2}{15}$ です。

この説明に合う考え方を、下のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

【考え方】

ア

$$\begin{array}{l} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \div 5 \\ \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \leftarrow \\ \div 5 \end{array} \right\}$$

イ

$$\begin{array}{l} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \\ \downarrow \times 5 \quad \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \times 5 \end{array}$$

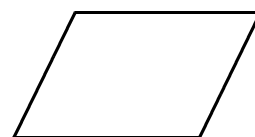
ウ

$$\begin{array}{l} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \div 5 \\ \downarrow \times 5 \quad \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \times 5 \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \leftarrow \\ \div 5 \end{array} \right\}$$

エ

$$\begin{array}{l} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \\ \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \div 5 \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \leftarrow \\ \div 5 \end{array} \right\}$$

5 右の図のような平行四辺形の対称^{たいしょう}の中心の見つけ方を、次のように説明しました。



【説明】

平行四辺形の2本の対角線を引き、交わったところが対称の中心です。

この説明の理由となる性質を、下のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の軸^{じく}と垂直^{すいちよく}に交わります。
- イ 対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の中心を通ります。
- ウ 対称の軸^{じく}と交わる点から、対応する2つの点までの長さは等しくなっています。
- エ 向かい合った辺の長さは等しくなっています。

〔算数〕小6 組 番 氏名

1

$$\frac{4}{3} \times \frac{3}{2}、\frac{7}{2} \times \frac{4}{7} \text{ など}$$

分子の数が分母の数の2倍のとき、大きさが2になります。

2

(1)

1、3、4

(2)

2、4

1つの点を中心にして180°回転させたとき、もとの図形にぴったり重なる図形を、点対称な図形といいます。

※正三角形を1つの点を中心にして、180°回転させると、もとの図形とはぴったり重なりません。正三角形は点対称な図形ではありません。

3

(1)

$$x \times 8 + 3 = y$$

$$(8 \times x + 3 = y)$$

(2) ①

ウ

②

イ

ーや÷の意味から、式が何を表しているのかを考えます。

4

ア

説明にそって式と比べながら考えることが大切です。

5

イ

平行四辺形の対角線は、対応する2つの点を結ぶ直線なので、「対応する2つの点を結ぶ直線は対称の中心を通ること」を理由に、対称の中心が見つけれられる理由を説明することができます。